事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者	1等の構	既要									
氏名又は	名称						日本無	線株式会	会社		
代表者	名	氏	名		小洗 6	建		役職	名	帝役社長	
主たる事				東京都中	野区中野區	四丁目	10番	:1号 中	中野 [。]	セントラルパーク	イースト
主たる事	事業	大分						E 製達	告業		
の分類	頁	中分				3	0 情	報通信機	械岩	8具製造業	
	主たる事業の概要 無線通信装置、無線応用装置、電子応用装置、電子部品及び装備工事										
		✓	☑ 条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						うる事業者		
制度に該当	首する	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						つる事業者			
要件			条例第	12条第1	項第2号に	該当す	る事	業者			
			上記以	外(任意	意提出)の	事業者	<u> </u>				
			基準年	度実績	最終年度0	の目標	第一	·年度報告	片	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エギー使用		k1		2, 462		2, 388					
エネルキ゛ー起源 二 炭素排出		t- CO ₂		4, 435		4, 302					
その他ガ 排出量合		t- CO ₂		0							
自動車の行	台数	台		5							
自動車かり排気ガスを		t- _{CO2} 9									
2 基準年度、計画期間及び報告対象年度											
基準學	年度	2019 年度 計画期間 2020 年度~ 2022 年度				度					
報告				年度							

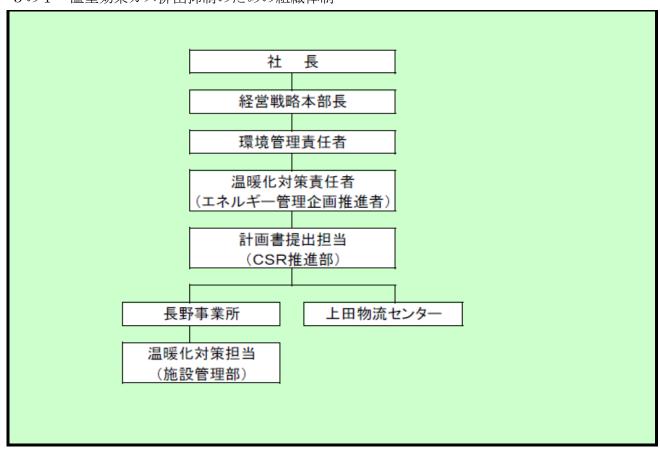
3 計画書(報告書)の公表方法等

7	ホームページ	
	印刷物の閲覧	http://www.jrc.co.jp/jp/index.html
	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

当社では、環境基本方針に「地球温暖化の防止及び廃棄物の3Rの推進により環境負荷の低減に努める。」を掲げ、エネルギー使用量の進捗管理を行う。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

省エネ法分科会を年1回開催

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

6 Ø 1		ギー起源 一酸化炭素	ポップが1117年間に	- (ポンコ	派以 () 天順			
基 準	年 度	基準排出量	4, 435	t-CO ₂	延床面積	71. 41	単位	+m²
2019	年度	調整後排出量	4, 435	t-CO ₂	基準原単位	62. 11	t-CO ₂ /	千㎡
目標	年 度	目標排出量	4, 302	t-CO ₂	目標原単位	60. 25	t-CO ₂ /	于m²
2022	年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3. 00	%	
目標記	受定に 5説明	運用面での改善を材	検討し、3年間	『で3 %	の削減を目指す。			
第一	年度	排出量		t-CO ₂	延床面積		単位	
	1 /X	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020	年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
2020 	十戊	削減率		%				
排出量 増減								
第二	年度	排出量		t-CO ₂	延床面積		単位	
		削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021	年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
		削減率		%				
排出量 増減								
第三	生 生	排出量		t-CO ₂	延床面積		単位	
	丁/又	削減率		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
2022	年度	調整後排出量		t-C02	原単位削減率		%	
<u> </u>	十戊	削減率		%				
目標の 況及び の増減								

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

000247114	-起源二酸化炭素以外	の温至効果	カムの	排出抑制に係る日標 <i>及</i>	ひ 美領
基 準 年 度	基準排出量	0	t-CO ₂		単位
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位	t-CO ₂ /
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位	t-CO ₂ /
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率	%
目標設定に 関する説明					
第一年度	排出量		t-CO ₂		単位
弗一年度	削減率		%	原単位	t-CO ₂ /
2020 年度	調整後排出量		t-C02	原単位削減率	%
2020 年度	削減率		%		
排出量等の 増減理由					
第二年度	排出量		t-CO ₂		単位
	削減率		%	原単位	t-CO ₂ /
2021 年度	調整後排出量		t-C02	原単位削減率	%
JV01 /X	削減率		%		
排出量等の 増減理由					
第三年度	排出量		t-CO ₂		単位
分二十 /文	削減率		%	原単位	t-CO ₂ /
2022 年度	調整後排出量		t-C02	原単位削減率	%
出版 十汉	削減率		%		
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由					

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度 2019 年度 基準排出量 9 t-CO2 基準原単位 t-CO2/ 目標年度 目標削減率 t-CO2 目標原単位 t-CO2/ 2022 年度 目標削減率 % 目標削減率 % 第一年度 排出量 t-CO2////////////////////////////////////	603	目期里の	使用に伴り ――	8化灰素の排出抑制に	-係る	目標及ひ美績	
目標年度 目標排出量 t-CO2 目標原単位 t-CO2/ 2022 年度 目標削減率 % 目標削減率 % 第一年度 排出量 t-CO2 単位 t-CO2// 原単位 t-CO2// 原単位 * 2020 年度 削減率 % 原単位 t-CO2// 原単位 * * 第二年度 削減率 % 原単位削減率 % *			基準排出量	9	t-CO ₂		
The state of the first and the state of	2019	年度				基準原単位	t-CO ₂ /
目標設定に関する説明 第一年度 排出量 t-CO2 単位 2020 年度 削減率 % 原単位削減率 % 排出量等の増減理由 サームの2 単位 t-CO2 単位 2021 年度 削減率 % 原単位削減率 % 排出量等の増減理由 サームの2 原単位 t-CO2 単位 第三年度 排出量 t-CO2 原単位 t-CO2 2022 年度 削減率 % 原単位削減率 % 目標の達成状況及び排出量 % 原単位削減率 %	目標	年 度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位	_
第一年度 排出量 t-CO2 単位 2020 年度 削減率 % 原単位削減率 % 排出量等の増減理由 t-CO2 原単位 t-CO2/原単位 2021 年度 削減率 % 原単位削減率 % 排出量等の増減理由 t-CO2/原単位 単位 t-CO2/原単位 2022 年度 削減率 % 原単位削減率 % 目標の達成状況及び排出量 % 原単位削減率 %	2022	年度	目標削減率		%	目標削減率	%
第一年度 排出量 t-CO ₂ 原単位 t-CO ₂ / 2020 年度 削減率 % 原単位削減率 % 排出量等の増減理由 排出量 t-CO ₂ 原単位 t-CO ₂ / 2021 年度 削減率 % 原単位削減率 % 排出量等の増減理由 サイン 原単位 t-CO ₂ / 原単位 2022 年度 削減率 % 原単位削減率 % 目標の達成状況及び排出量 所単位削減率 %							
原単位 t-CO₂/ 2020 年度 削減率 % 原単位削減率 % 第二年度 排出量 t-CO₂ 原単位 t-CO₂/ 2021 年度 削減率 % 原単位削減率 % 第三年度 排出量 t-CO₂ 原単位 中でO₂/ 2022 年度 削減率 % 原単位削減率 % 目標の達成状況及び排出量 (別域率) %	第一年	Ŧ 臣	井山昌		+		単位
#出量等の 増減理由 第二年度 排出量 t-CO ₂ 原単位 t-CO ₂ / 2021 年度 削減率 % 原単位削減率 % #出量等の 増減理由 第三年度 排出量 t-CO ₂ 原単位 t-CO ₂ / ② 原単位削減率 % 原単位削減率 % 原単位削減率 %	<i>\$</i> 77 ↑	十尺	分山里		002	原単位	t-CO ₂ /
増減理由 第二年度 排出量 t-CO2 単位 2021 年度 削減率 % 原単位削減率 % 排出量等の増減理由 サーCO2 単位 t-CO2 2022 年度 削減率 % 原単位削減率 % 目標の達成状況及び排出量 % 原単位削減率 %	2020	年度	削減率		%	原単位削減率	%
第二年度 排出量 t-CO ₂ 2021 年度 削減率 % 原単位削減率 排出量等の 増減理由 サ位 第三年度 排出量 t-CO ₂ 2022 年度 削減率 % 原単位削減率 目標の達成状況及び排出量 % 原単位削減率							
原単位 t-CO2/ 2021 年度 削減率 % 原単位削減率 % 第三年度 排出量 t-CO2 原単位 t-CO2/ 2022 年度 削減率 % 原単位削減率 % 目標の達成状況及び排出量 は一CO2/	笛一点	王庄	排出量		t-C0°		単位
排出量等の 増減理由 t -CO ₂	<i>M</i> —	F/X	が田里		0 002	原単位	t-CO ₂ /
増減理由 t-CO2 単位 第三年度 排出量 t-CO2 原単位 t-CO2/ 2022 年度 削減率 % 目標の達成状況及び排出量	2021	年度	削減率		%	原単位削減率	%
第三年度 排出量 t-CO ₂ 2022 年度 削減率 % 原単位削減率 目標の達成状況及び排出量							
原単位 t-CO ₂ / 2022 年度 削減率 % 原単位削減率 % 目標の達成状況及び排出量	第二年	王庶	排出量		t-CO-		単位
目標の達成状況及び排出量	カー	下及	カトロ里		002	原単位	t-CO ₂ /
況及び排出量	2022	年度	削減率		%	原単位削減率	%
	況及び抜	非出量					

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年	度	第二年度	第三年度	備考
$I \sim II$	I -1	燃料使用量等の 定期的な把握							
1 11	I -2	エコドライブの 励行							
Ш	Ш-1	次世代自動車の 導入計画							
IV	IV-1	次世代自動車の 導入							

様式1号 (総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

	マム			i	計画		状況
番号	区分	区分 番号	対策内容	実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起		空気調和設備の保全管理	2020~ 2022	0. 1		
2	エネ起	350605	受変電設備及び配線設備の 保全管理	2020~ 2022	0. 1		
3	エネ起	360703	コンプレッサーの運転管理	2020~ 2022	0. 1		
4	エネ起	380702	照明設備の保全管理	2020~ 2022	0. 1		
5	エネ起	390702	昇降機の保全管理	2020~ 2022	0. 1		
6	エネ起	400202	給湯設備の保全管理	2020~ 2022	0. 1		
7	エネ起	330201	空気調和の管理	2020~ 2022	20		
8	エネ起	350601	変圧器の需要率管理	2020~ 2022	28		
9	エネ起	380752	LEDの導入	2021~ 2022	25		
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模	基準年度		第一	一年度 第二		年度	第三年度	
(原油換算エネルギー使用量)	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500kl以上 3,000kl未満	1	3, 110						
1,500kl未満	3	1, 325						
合計	4	4, 435						

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 $(t-CO_2)$

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH_4				
N_2O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF_3				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイ ブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼ ル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	1			
合計	1	0	0	0
自動車総数	5			
次世代車導入割合	20			

13 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関 の利用促進	各職場にバス時刻表を掲示し事業所から駅までの移動に公共機関の利用を促す。
自 転 車の利用促進	通勤時、一定距離以下の場合は自動車利用は認めず、自転車利用のみとする。
来 客 者 の 交 通 対 策	HPに公共機関によるアクセスを記載し駅から事業所までのバス利用を促す
物流の合理化	荷量に見合ったトラックの選択することや 荷量減少時はリニアにトラックの定期便を減便することで合理化を図る。

14 環境配慮活動状況

	環境配慮活動	活動内容の詳細		
			実施内容	実施年度
	SDGs	長野県SDG s 登録制度へ登録している		
7	環境マネジメント システム	環境マネジメントシステムを導入している		1000
<u> </u>		名称 ISO	014001	1998
	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD) 支持を表明している		
	グリーンボンド	グリーンボンドを発行している ESG対話プラットフォームに登録している SBT を策定済、またはコミットしている		
	ESG投資			
	SBT			
	RE100	RE100にこ	コミットしている	
		□ 再エネ10	00宣言RE Action へ参加している	
✓	その他	グリーン購入を社内で推奨している		1998

		Ç 1 L	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	
•	1 5	自由記載欄		